

## 第7回

# 調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討委員会

令和8年3月27日（金）午後6時30分から

事務局 教育委員会（指導室），調布市生活文化スポーツ部（スポーツ振興課・文化生涯学習課）

**01**

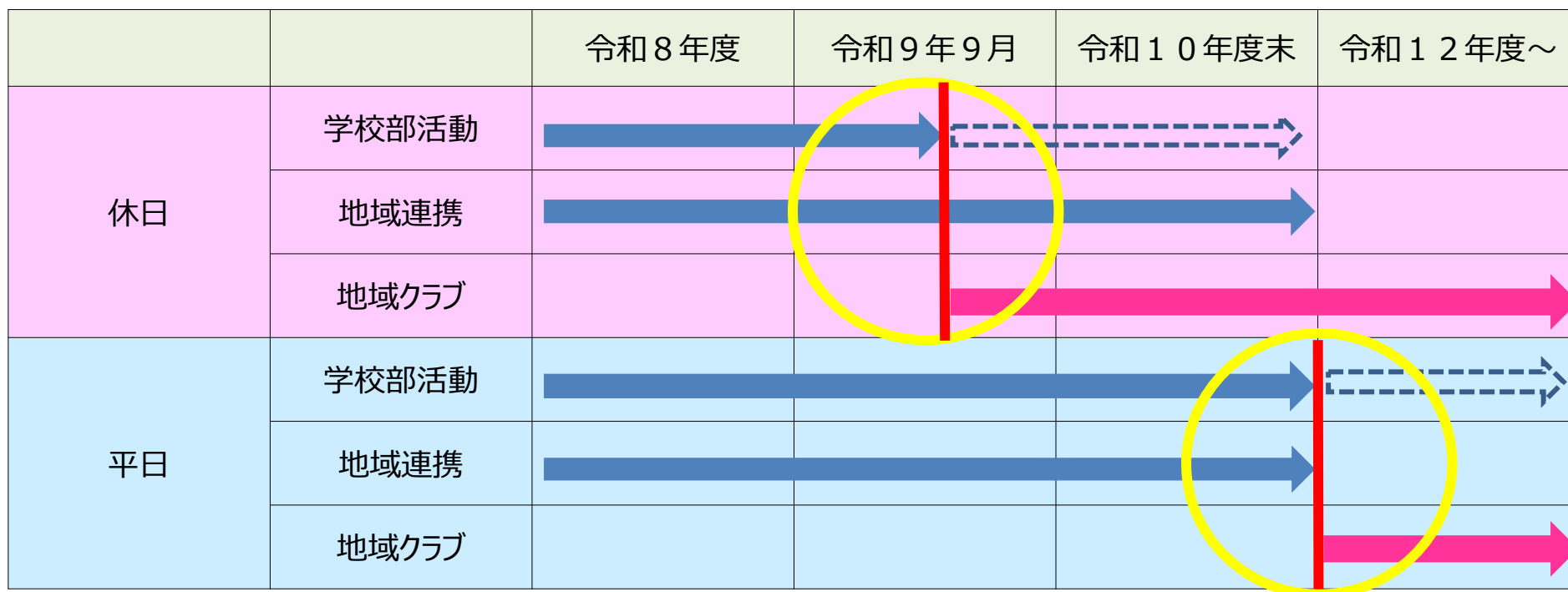
**前回検討委員会の振り返り**

## 調布モデルのスキーム（運動系部活動における全体スキームのたたき台）



## 調布モデルのスキーム（文化系部活動における全体スキームのたたき台）





令和9年度以降，可能な限り早期に，全ての休日部活動において地域連携か地域移行を実施する流れ（案）

- ①地域連携の推進（部活動指導員や外部指導員の充実）
- ②地域連携ができていない部活動には，地域指導者を優先導入し地域クラブ化
- ③地域連携ができていない部活動（休日）については体制が整い次第，地域クラブ化

※地域クラブ化した部活動から受益者負担による運営を行う想定

具体的な金額や実施時期などは，国の動向や地域クラブの運営体制整備と合わせて検討

※平日部活動の本格移行に向けた検討（活動時間，指導者の確保）



# 02

## 国・東京都の方針を踏まえた 調布市の検討の方向性

# 国・東京都の方針を踏まえた調布市の検討の方向性

国・東京都の方針を踏まえると、調布市の今後の検討では、「改革実行期間の中でどう進めるか」、「学校と地域クラブの連携をどう設計するか」、「認定制度をどう考えるか」、が重要な視点となる。

<p>国の新たなガイドライン(R7.12)のポイント</p>	<p><b>改革実行期間の設定</b></p> <p>令和8年度から13年度までの6年間を「改革実行期間」とし、休日の部活動は原則として全校で地域展開を実現する目標が示された</p>	<p><b>「学校と地域の連携」の明文化</b></p> <p>学校は切り離される存在ではなく、施設貸与や生徒情報共有などを通じて<b>地域クラブと連携することが不可欠</b>とされた</p>	<p><b>地域クラブ活動の認定制度</b></p> <p>市区町村が責任主体となり、活動時間・休養日（週11時間、平日2時間、休日3時間程度以内、週2日以上休養日）、参加費、安全管理など<b>一定の要件を満たすクラブを認定</b>し、財政支援や施設の優先利用、大会参加等につなげる考え方が示された</p>	
<p>東京都の推進計画案のポイント</p>	<p><b>「東京モデル」として複数の形を組み合わせる方針</b></p> <p>国の指針を踏まえつつ、<b>地域クラブ</b>への「地域展開」だけでなく、部活動の<b>複数校拠点化</b>や<b>外部指導者活用</b>による「地域連携」など、地域事情に応じて組み合わせる考え方</p>		<p><b>活動機会の確保と働き方改革の両立</b></p> <p>「<b>生徒の活動機会確保・充実</b>」と、「<b>教員の働き方改革</b>」を<b>両輪</b>として進め、改革実行期間を通じて、段階的に「東京モデルを加速」させる</p>	
<p>調布市として重視すべき論点</p>	<p>① 学校と地域クラブとの連携の在り方 ② 指導者の確保や活動場所の確保 ③ 地域クラブ活動の質を担保するための「認定制度」の考え方</p> <p>国が示した「市区町村が改革の責任主体である」という定義を踏まえ、本市の実情に即した形で、部活動の地域連携・地域展開の取組を段階的に進めていく。</p>	<p>① <b>学校と地域クラブの連携の在り方</b></p> <p>学校との接続、役割分担、情報共有をどう設計するか</p>	<p>② <b>地域で支える体制整備</b></p> <p>指導者確保、活動場所確保、運営体制整備をどう進めるか</p>	<p>③ <b>認定制度の考え方</b></p> <p>地域クラブ活動の質をどう担保するか</p>
		<p><b>調布モデルを検討する際の視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 改革実行期間を見据えた段階的な進め方になっているか</li> <li>✓ 学校と地域クラブの連携の仕組みが見えているか</li> <li>✓ 指導者・活動場所・運営体制の確保につながるか</li> <li>✓ 生徒の活動機会確保と教員負担軽減の両立に資するか</li> <li>✓ 認定制度の考え方につながる実証となっているか</li> </ul>		

03

**令和7年度のトライアル事業**

## トライアル事業（調布モデルの実証）における実証のテーマ

No.	実証のテーマ	背景と目的、および実証のポイント（課題等）
①	スポーツ協会を運営主体とした地域クラブ運営モデルの検証	推進計画において運動系の統括団体として想定している調布市スポーツ協会による運営モデルについて、その実行性や課題を検証する。
②	モデル校における「複数部活一括移行」方式の実効性と課題抽出	学校単位での部活動地域移行の全体設計と、全体移行時を想定した複数の部活動を一括で地域クラブ化する場合の課題の可視化を目的とする。
③	地域資源の活用モデル（トップスポーツチーム、大学等）の検証	市ゆかりのトップスポーツチームや大学等の資源を活用し、特性あるクラブ運営の可能性を探るとともに、連携のあり方や仕組みを模索する。
④	地域人材を活用した外部指導者の確保・活用モデルの検証	地域クラブにおける指導体制の整備に向け、地域人材を多様な形で活用するモデルの実行性を確認する。
⑤	多様なニーズを踏まえた新たな地域クラブ運営モデルの検証 （ニーズの把握）	競技志向や既存部活動種目にとられないニーズの多様化に対応した柔軟なクラブ運営のあり方を模索する。
⑥	合同練習会、他校交流のモデル検証	地域クラブだからこそその学校間交流や合同指導の形を通じ、生徒の刺激・経験の拡張と地域横断型指導体制の可能性を探る。
⑦	調布モデルの想定スキームを踏まえた既存部活動の地域クラブ化のモデル検証	既存の学校部活動と同じ種目の地域クラブを立ち上げるモデルの実効性や課題を検証する。
⑧	多世代交流地域クラブモデルの検証	地域に根ざした活動として、子どもから大人・高齢者までが参加することも見据えた、多世代型クラブの可能性を模索する。
⑨	教員の兼職・兼業モデルの検証	教員が地域クラブの指導者として地域クラブに関わるモデル及び兼職・兼業制度活用の実効性や課題を検証する。

## トライアル事業（調布モデルの実証）の実証テーマと実施概要（スポーツ部門）

No.	既存 新規	系統	主な検討テーマ				区分	概要	方向性	時期	回数等	場所
01	既存	運動	複数部活一 括モデル （休日限 定）	既存部活の 地域クラブ 化	教職員の 兼職兼業	スポーツ 協会運営	休日	モデル校における複数の 休日部活動をまとめて地 域クラブとして運営 （対象：調布中学校の 複数部活動）	地域連携以外の複数部 活動をクラブとして試行 運営	12～2 月	当該期間の 休日の活動	調布中
02	既存	運動	既存部活の 地域クラブ 化	地域指導者 の活用	スポーツ 協会運営		休日	地域人材を活用した部 活動の指導の実施 （対象：第五中学校ソ フトテニス部）	スポーツ協会加盟団体 の地域人材による指導 実践	調整中	当該期間の 休日の活動	第五中
03	既存	運動	地域資源の 活用モデル	合同練習会、 他校交流モ デル			休日	FC東京と連携した合同 部活動 （対象：全中学校）	地域連携の部活動とし て試行運営	12月	各校1回 （一部複数 回）	各中学校
04	既存	運動	地域資源の 活用モデル	合同練習会、 他校交流モ デル			休日	読売巨人軍と連携した 合同部活動 （対象：全中学校）	地域連携の部活動とし て試行運営	1～2月	各校1回 練習試合	各中学校
05	既存	運動	地域資源の 活用モデル				休日	NTT東日本バドミントン 部と連携した部活動 （対象：第三中学校バ ドミントン部）	地域連携の部活動とし て試行運営	1月	2回	第三中 体育館
06	新規	運動	多様なニー ズ	多世代交流 モデル	地域資源の 活用モデル （大学連携）	スポーツ 協会運営	休日	マルチスポーツ体験	体験会形式（対象： 小学校4～6年生をメイ ンターゲット）	12～2 月	3回	第一小 体育館

## トライアル事業（調布モデルの実証）の実証テーマと実施概要（文化部門）

No.	既存 新規	系統	主な検討テーマ				区分	概要	方向性	時期	回数等	場所
01	既存	文化 (吹奏楽)	複数部活一 括モデル (休日限 定)	既存部活の 地域クラブ 化	教職員の 兼職兼業	地域資源の 活用モデル (大学連 携)	休日	モデル校における複数の 休日部活動をまとめて地 域クラブとして運営 (対象：調布中学校の 複数部活動)	地域連携以外の複数部 活動をクラブとして試行 運営	12～3 月	当該期間 の休日の 活動	調布中
02	既存	文化	地域資源の 活用モデル	平日移行	地域資源の 活用モデル (文化協 会)		平日	六中囲碁部	中学校での外部指導者 による指導	通年	月4～5 回	第六中学校
03	既存	文化	地域資源の 活用モデル	平日移行	地域資源の 活用モデル (大学連 携)		平日	桐朋学園大学学生派 遣(神代中)	中学校での外部指導者 による指導	6～9 月	月5回	神代中学校
04	既存	文化	地域資源の 活用モデル	合同練習会、 他校交流モ デル	地域資源の 活用モデル (大学連 携)		休日	桐朋学園大学学生派 遣(市内全生徒向け)	市内全生徒向け練習会 (令和7年度は実施し ない方針)	検討中	検討中	検討中
05	新規	文化	多様なニー ズ	多世代交流 モデル	地域資源の 活用モデル (大学連 携)		休日	電気通信大学等と連携 した部活動(ロボットク ラブ、アマチュア無線) (案)	PR支援、地域人材によ る指導実施	2～3月	1回	電気通信大 学

## トップスポーツチームにおける休日部活動の地域連携トライアル実施

## 実施概要

連携チーム：FC東京  
読売巨人軍  
NTT東日本バドミントン部

対象校：サッカー ⇒ 全中学校  
※複数校による合同部活動を含む  
軟式野球 ⇒ 全中学校  
※複数校による合同部活動を含む  
バドミントン ⇒ 第三中学校

対象：運動部の休日活動

期間：令和7年12月から2月まで（3か月間）

実施形態：トップスポーツチームから指導者の派遣を受け、部活動として実施（休日のみ）

## 連携手法

## ○FC東京

FC東京普及部コーチによる技術指導

## ○読売巨人軍

- ・読売ジャイアンツのアカデミーコーチによる技術指導
- ・指導した内容を踏まえた生徒の発表の場として、2/14（土）にジャイアンツタウンスタジアムにおいて練習試合を実施

## ○NTT東日本バドミントン部

NTT東日本バドミントン部OBによる技術指導

## 実施日時

## FC東京

No.	日時	時間	該当校	場所	備考
01	12月13日（土）	13：00～15：00	第六中	第六中	
02	12月14日（日）	9：00～11：00	調布中・第五中	調布中	雨天中止
03	12月14日（日）	13：00～15：00	第三中・第七中	第三中	雨天中止
04	12月20日（土）	9：00～11：00	第八中	第八中	
05	12月20日（土）	13：00～15：00	神代中	神代中	
06	12月21日（日）	9：00～11：00	第三中・第七中	第三中	
07	12月21日（日）	13：00～15：00	調布中・第五中	調布中	
08	1月31日（土）	9：00～11：00	第三中・第七中	第三中	



## トップスポーツチームにおける休日部活動の地域連携トライアル実施

## 読売巨人軍

No.	日時	時間	該当校	場所
01	1月17日(土)	9:00~11:00	第五中・第七中	第五中
02	1月18日(日)	9:00~11:00	調布中・第八中	調布中
03	1月25日(日)	13:00~15:00	神代中・第四中	神代中
04	1月31日(土)	13:00~15:00	第三中・第六中	第三中
05	2月14日(土)	8:00~14:00	調布中・神代中・ 第五中・第八中 (4校)	ジャイアンツタウン スタジアム

## NTT東日本バドミントン部

No.	日時	時間	該当校	場所
01	1月17日(土)	9:00~11:00	第三中	第三中
02	1月31日(土)	9:00~11:00	第三中	第三中



## モデル校における休日部活動の「複数部活一括移行」方式実施

## 実施概要

モデル校： 調布中学校

対象： 運動部及び吹奏楽部の休日活動

期間： 令和7年12月から令和8年3月まで（4か月間）

実施形態： 休日の部活動を地域クラブの活動として実施

※ただし、既に地域連携として部活動指導員や外部指導員が入っている部活動、大会出場は除く（吹奏楽部を除く）

実施部活： 水泳部・野球部・サッカー部・バスケットボール部・ソフトテニス部・吹奏楽部

活動場所： 学校施設を貸与

運営統括： 運動部：（公社）調布市スポーツ協会  
文化部：文化生涯学習課

指導者： 教員（兼職兼業）・桐朋学園大学

教員向け説明会：

（運動部）令和7年10月20日（月）

（文化部）令和7年12月23日（火）

保護者向け説明会：

（運動部）令和7年11月7日（金）

（文化部）令和8年1月30日（金）

教員向け書類説明：

（運動部）令和7年11月17日（月）

（文化部）令和7年12月23日（火）

## 実施日時

No.	部活動	生徒数	指導者数	12月活動回数	1月活動回数	2月活動回数	3月活動回数	計
01	サッカー部	17	1	0	0	0	－	0
02	男子バスケットボール部	21	2	4	4	3	－	11
03	女子バスケットボール部	18	1	4	4	3	－	11
04	ソフトテニス部	42	2	4	4	4	－	12
05	野球部	10	2	3	2	0	－	5
06	水泳部	15	1	2	3	2	－	7
07	吹奏楽部	32	8	－	－	3	3	6
	（計）	155	17					



## モデル校以外における休日部活動のトライアル実施

## 実施概要

- 実施校： 第五中学校
- 対象： ソフトテニス部の休日活動
- 期間： 令和8年1月から2月まで（2か月間）
- 実施形態： 休日の部活動として、地域人材が指導する活動として実施
- 統括団体： （公社）調布市スポーツ協会
- 指導者： 調布市ソフトテニス連盟 指導員3名
- 顔合わせ・活動見学： 令和8年1月10日（土）
- 保護者会・指導開始： 令和8年1月17日（土）

## 実施日時

No.	部活動	生徒数	顧問数	指導者数	1月 活動回数	2月 活動回数	計
01	男子ソフトテニス部	14	2	3	4	2	6

## 新規種目「マルチスポーツ」に関するトライアル実施

## 実施概要

対 象： 市内在住・在学の小学4～6年生，中学生

会 場： 第一小学校 体育館

内 容： ベースボール5・ディスクサッカー・スポーツ鬼ごっこ・ピックルボールなど（各回3種目程度）  
※保護者に対して部活動地域連携・地域展開に関する市の現状について説明会を実施

指導者： 玉川大学教育学部 阿部 准教授

教育学部体育スポーツ教育学ゼミ生15人（1回あたり5～8人程度）



新しいスポーツ・文化芸術活動のカタチ

部活動の地域連携・地域移行に向けて

マルチスポーツ体験会申込サイト

新しい種目を気軽にやってみよう!

内容：ベースボール5・ディスクサッカー・スポーツ鬼ごっこ・ピックルボール など（各回3種目程度）

回数	第1回	第2回	第3回
実施日	令和7年 12/20(土)	令和8年 1/24(土)	令和8年 2/15(日)
申込期間	11/5(火)～12/3(水)	12/20(土)～1/7(水)	1/20(火)～2/4(水)
受付	9:30～11:30	9:30～11:30	9:30～11:30
会場	第一小学校 体育館 (小体育1～1)	第一小学校 体育館 (小体育1～1)	第一小学校 体育館 (小体育1～1)
申込	保護者1人(児童) 1名	保護者1人(児童) 1名	保護者1人(児童) 1名

ポータルサイト

【問合せ先】 調布市教育委員会 体育課 電話 042-481-7480 | p@doccity.chofu.lg.jp  
調布市文化スポーツ推進課 電話 042-481-7496 | sports.chofu.lg.jp

## 実施日時

回数	実施日	市報掲載	申込期間	指導者数	参加者数
第1回	令和7年12月20日（土）	11月5日号	11月5日（火）～12月3日（水）	8	12
第2回	令和8年1月24日（土）	12月20日号	12月20日（土）～1月7日（水）	9	10
第3回	令和8年2月15日（日）	1月20日号	1月20日（火）～2月4日（水）	5	12

## 第六中学校 囲碁部

## 実施概要

連携先： 調布囲碁連盟  
 対象校： 第六中学校  
 対象： 中1～中3  
 期間： 令和7年度  
 実施形態： 調布囲碁連盟からの講師派遣を45回実施  
 3月分は未集計（平日部活動中心）

## 参考資料



## 神代中学校 吹奏楽部&amp;合唱部

## 実施概要

連携先： 桐朋学園大学  
 対象校： 神代中学校  
 対象： 中1～中3  
 期間： 令和7年度  
 実施形態： 桐朋学園大学からの講師派遣  
 吹奏楽部13回  
 合唱部11回  
 3月分は未集計

## 参考資料



## 電気通信大学 調布STEAMクラブ

### 実施概要

連携先： 電気通信大学  
 対象校： 市内全小中学校  
 対象： 小6～中1  
 期間： 令和8年3月22日（日）  
 実施形態： 電気通信大学にて3/22に開催  
 アマチュア無線班×3回  
 ロボティクス班×3  
 参加人数： 22名

### 参考資料

2026年度 調布地域の中高生向けクラブ活動  
 開設予定!

**調布STEAMクラブ**  
 説明会・体験会 開催決定!

日時： 2026年3月22日（日）  
 第1回：10:00～12:20、第2回：13:00～15:20、  
 第3回：15:00～17:20

場所： 電気通信大学 創立80周年記念会館 3階  
 会議室

募集分野と定員：  
 アマチュア無線班 各回10名、ロボティクス班 各回10名

参加者募集！  
 対象： 市内在住の小学6年生・  
 中学1年生およびその家族  
 問い合わせ先：  
 調布STEAMクラブ (mailto:office.usc.ac.jp)

2026.3.22 調布STEAMクラブ

## PTA連合会 合同合唱企画

### 実施概要

連携先： PTA連合会，桐朋学園大学  
 対象校： 市内全中学校  
 対象： 中1～中3  
 期間： 令和8年2月から3月まで（2か月間）  
 実施形態： 小学校の音楽室を借用して練習を実施  
 最終練習会はたづくりくすのきホール  
 3/29にコンサート本番  
 参加人数： 15名

### 参考資料

この春  
 活動の中心となる

桐朋学園大学  
 PTAコンサート  
 2026年3月29日(日)14時開演  
 調布たづくりくすのきホール  
 練習日程(予定)  
 2月21,28 3月7,14,21,28  
 本大会(本番) 3月29日 14:00-16:00  
 練習場所 第一小中学校音楽室  
 ※各校練習室がなくてもOK。ただし2校は必須

調布市中学生  
 合同合唱部  
 メンバー募集

募集対象・条件  
 市内全小中学校の児童・生徒  
 学年：小学6年生～中学3年生  
 性別：男女別  
 募集期間：2026年2月1日～3月31日  
 募集定員：15名  
 応募方法：調布市PTA連合会事務局へ  
 応募用紙を提出してください。

活動内容・練習について  
 練習場所は各校の音楽室  
 練習時間は各校の都合により  
 異なります。練習時間は各校の  
 都合により変更される可能性  
 があります。ご了承ください。

PTAコンサートについて  
 練習場所は各校の音楽室  
 練習時間は各校の都合により  
 異なります。練習時間は各校の  
 都合により変更される可能性  
 があります。ご了承ください。

主催：調布市PTA連合会  
 連絡先：調布市PTA連合会事務局  
 電話：042-252-1111  
 問い合わせ先：調布市PTA連合会事務局  
 電話：042-252-1111  
 メール：pta@city.tama.lg.jp

### 実施日時

No.	日時	時間	実施場所
01	2月21日（土）	14：00～16：00	第一小学校
02	2月28日（土）	14：00～16：00	第一小学校
03	3月7日（土）	14：00～16：00	第一小学校
04	3月14日（土）	14：00～16：00	布田小学校
05	3月21日（土）	14：00～16：00	第一小学校
06	3月28日（土）	14：00～16：00	たづくりくすのきホール
07	3月29日（日）	14：00～16：00	たづくりくすのきホール

## R7トライアル事業の評価（成果・課題）

### 調布モデルの実証を通じて見えた成立条件と、R8に検討が必要な主要課題

R7トライアル事業では、統括団体を置いた運営、既存部活動を基盤とした地域クラブ化、大学・地域人材連携などの成立可能性が確認された一方、学校接続、人材確保、費用負担、施設ルール等は制度化が必要な論点として残った。

主な成果（成立したこと）	主な課題
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統括団体を置くことで、責任の所在と行政・学校との窓口機能が明確になった</li> <li>2. 既存部活動を母体とした地域クラブ化は、生徒の参加を維持しやすかった</li> <li>3. 地域人材・加盟団体・トップチーム・大学等、地域資源の活用可能性が確認できた</li> <li>4. マルチスポーツなど、新規ニーズに対応する活動モデルの可能性が見えた</li> <li>5. 教員が兼職兼業によって地域クラブの指導者として活動するモデルを確認できた</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 休日に地域クラブ化した場合の平日部活動との連携のあり方</li> <li>② 活動場所となる学校施設の使用に係る調整方法</li> <li>③ 指導者の質と量の確保の仕組み</li> <li>④ 適切な受益者負担額を含む収支モデルの構築</li> <li>⑤ 児童生徒や教員，保護者を含む地域に対する認知度の向上</li> <li>⑥ 持続可能な統括団体の運営機能の設計</li> <li>⑦ 文化部における運営スキームの検討</li> </ol>

## R8～R9に向けた重要論点別の整理

## トライアル結果を踏まえ、調布モデルの構築・実装に必要な重要論点

重要論点	トライアルから見えたこと	R8検討課題	R9検討課題
<b>a 学校業務の整理 (学校と地域クラブの接続を含む)</b>	既存部活動を母体とした移行や教員の関与は、生徒の安心感や活動の一貫性の確保に有効だった。 一方で、教員への理解促進、平日・休日の二重構造、施設利用のルール等が課題として残った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域クラブの役割分担</li> <li>教員の関わり方</li> <li>平日・休日の接続方法</li> <li>学校窓口と統括団体窓口の整理</li> <li>連絡・報告ルールを標準化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続ルールを全対象校で運用可能な形に整える</li> <li>学校と地域クラブの役割分担を定着させる</li> </ul>
<b>b 保護者・地域・学校への広報</b>	保護者説明会、学校配信、同意取得、アプリ加入等は一定程度機能し、説明の丁寧さが参加判断に影響することが確認できた。 一方で、地域クラブ化そのものの認知や文化部を含む周知には課題が残った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・保護者・学校向けの理解促進策</li> <li>説明会の標準化と展開方法の検討</li> <li>広報媒体・FAQ整備</li> <li>アプリ運用方針を整理</li> <li>説明・募集の導線を統一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者説明、募集開始、参加登録、問い合わせ対応までの標準的な周知広報運用を整備する。</li> </ul>
<b>c 統括団体の運営機能の設計等</b>	R7トライアルでは、スポーツ協会事務局職員が統括団体としての役割を担い、その事務作業は多岐に渡った。 一方、調整主体の多さや、事務作業量などを加味すると、現在の事務局の体制で令和9年度からの本格実施を迎えるのは困難。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ協会の事務局機能の整備及び事務局体制の強化</li> <li>ICT活用による煩雑かつ膨大な事務作業量の効率化</li> <li>持続可能な運営体制の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ協会の事務局運営体制の整備</li> <li>統括団体としての運営機能の実装（ICT整備含む）</li> </ul>
<b>d 人材バンク</b>	地域人材・加盟団体・トップチーム・大学等、地域資源の活用可能性は確認できた。 一方で、指導者の安定供給、質担保、登録・研修・配置の仕組みは今後検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>供給量把握、登録方法、確認・面談、研修・認定、安全基準、配置ルール、学校との接続を含む人材バンクの構築・運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動系を中心に、登録・研修・配置・活動報告までを含む人材バンク運用を開始</li> <li>継続的に指導者を確保できる仕組みを整える</li> </ul>
<b>e 文化系部活動の検討</b>	吹奏楽、囲碁、大学連携等から、文化系でも既存部活動を母体とした地域化や地域資源活用の可能性は見えた。 一方で、統括団体像、費用、施設、専門人材の最適化の課題が残っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>候補団体・大学・地域人材・施設の整理</li> <li>学校接続</li> <li>費用・施設ルール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け皿形成の基本方針</li> <li>学校接続</li> <li>運営条件を整理</li> <li>先行分野で地域クラブ化の実装条件を明確化</li> </ul>
<b>f 収支モデル</b>	地域クラブ運営に必要な費用（イニシャルコスト、ランニングコスト）を整理するとともに、受益者負担の許容範囲、指導者謝金の水準について検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者負担、指導者謝金水準の検討</li> <li>収支モデルの構築</li> <li>費用負担の考え方整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会費徴収・支払処理・減免対応を含む標準運用の構築・実装</li> </ul>

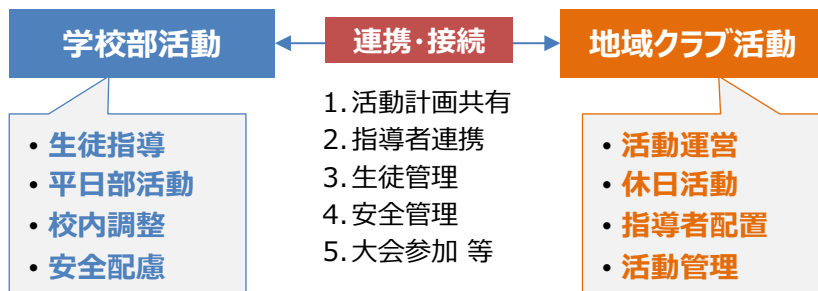
# 04

**令和8年度以降に検討が必要な重要論点**

# 重要論点a：学校部活動と地域クラブ活動の接続ルールの整理

## R7トライアル事業での成果と課題から、R8～R9.9月までの活動計画を整理

### 学校部活動と地域クラブ活動の接続と役割のイメージ



### R7トライアルで確認できたこと

成果	課題
A) 既存部活動をベースとした地域クラブ運営が可能	a. 学校と地域クラブの役割整理
B) 統括団体が運営主体として機能	b. 平日と休日の接続
C) 教員兼職兼業の実務経験	c. 施設利用
	d. 責任分担

上記を確認できたため、R8年度は「学校と地域クラブの接続ルール」を制度として整理するフェーズと位置付ける。

## 接続を前提とした制度設計のロードマップと実施内容

※下記の実施内容は、推進計画へも同時に反映させる想定

### 1期：R8.4～8月

下記の①②③を実施し、制度設計の大枠を整理、トライアル事業での検証を準備する。

### 2期：R8.9～3月

トライアル事業により、下記の①②③について、実運用前提の制度内容を確認、調整が必要な部分を明確化する。

### 3期：R9.4～8月

R8トライアル事業の結果から、①②③の調整部分を踏まえて④を制度化するとともに、地域のステークホルダーへの周知・理解促進を実施。

### 実運用：R9.9月～

全校で実運用を開始。接続ルールの運用から、学校と地域クラブの役割定着を目指す。

	① 学校側の整理 (接続の前提として)	② 指導体制の整理 (人材制度)	③ 活動基盤の整理 (施設利用)	④ 活動運営ルールの整理
<b>目的</b>	学校部活動と地域クラブの役割を整理する	地域クラブ活動を支える指導体制の制度を整理	持続的な運営のため、活動場所の確保と施設利用ルールを整理	地域クラブ活動の安全管理や責任体制などのルールを整理
<b>主な検討項目</b>	a. 学校業務棚卸し b. 学校と地域クラブの役割分担 c. 平日部活動との接続	a. 教員の兼職兼業制度 b. 部活動指導員の配置	a. 地域クラブの学校施設利用 b. 動線やセキュリティ条件の設定	a. 安全管理 b. 情報管理 c. 緊急時対応

## 重要論点 b : 保護者・地域・学校への広報

### 地域クラブの定着をゴールとして、保護者・地域・学校への理解促進・参加促進の取組みを整理

「学校部活動」と「地域クラブ活動」の違いから見る広報の重要性	
学校部活動	地域クラブ活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校管理</li> <li>・ 教員中心</li> <li>・ 費用負担が見えにくい</li> <li>・ 参加が半自動的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施主体が学校ではなくなる</li> <li>・ 費用や申込み方法を明示する必要性</li> <li>・ 参加判断が必要</li> </ul>

地域クラブ活動への移行・展開は、活動の仕組みそのものが変わるため、単なる周知ではなく、**参加判断を支える情報提供**が必要となる。

### 広報の目的（ゴール）と理解形成プロセスの設計



### 検討事項

#### 取組み概要

- ・ R8では、対象別に必要な情報を整理し、説明・募集・参加登録までをつなぐ広報基盤を整備する。
- ・ R9では、それを活用して募集・参加につなげ、地域の活動環境としての定着を図る。

#### 想定される課題

- ・ 学校ごとに説明内容がばらつく
- ・ 情報量が多く伝わりにくい

#### R8で整理すべき事項

- ・ 対象別に何を伝えるか
- ・ 費用・参加方法の標準的な説明内容
- ・ 説明会の実施方法
- ・ ポータルと学校配布物の役割分担
- ・ 申込・問い合わせ導線の統一

# 重要論点 C : 統括団体の運営機能の設計等

## 令和7年度トライアル事業の成果と課題から、統括団体（調布市スポーツ協会）の自走化に向けた取組を整理

### R7トライアルにおける課題

課題	詳細
1 事務局体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>R7トライアルでは、スポーツ協会事務局職員が学校調整、指導者配置、出欠管理、保険加入、活動管理などの役割を担った。</li> <li>一方、調整主体の多さや、事務作業量などを加味すると、現在の事務局の体制で令和9年度からの本格実施を迎えるのは困難。</li> <li>専門事業者の支援による<b>事務局機能の整備</b>とともに、<b>事務局体制の強化</b>が必要</li> </ul>
2 煩雑かつ膨大な事務作業量の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠席の管理や配置の調整、指導者への謝金の支払いやコミュニケーション、保険加入など、トライアル事業における<b>事務作業は多岐にわたった</b>。</li> <li>また、今後は、保護者からの会費の徴収や研修管理などの業務も発生することから、<b>ICT活用による運営業務効率化</b>が必須であると認識。</li> </ul>

### 新たなガイドライン（R7.12）が示す「運営機能」とスポーツ協会の役割

- 新たなガイドラインでは、「運営団体」は、各地域クラブ活動（実施主体）を統括し、運営・管理業務の中核部分を実施、「実施主体」は、運営団体の統括の下、個別の地域クラブ活動を実施、と定義。
- また、運営団体と実施主体の役割分担の在り方は多様であり、柔軟な連携・協力が重要、とも示しており、調布市における運動系部活動では、調布市スポーツ協会が運営団体として、実施主体（各地域クラブ活動）を統括管理していく体制作りが重要となる。

主な役割		A	B	C	D	
運営・管理	① 運営方針、運営計画の策定	運営団体⇨実施主体	運営団体	運営団体	運営団体	
	② 実施主体の活動状況の管理、指導助言、相談対応					
	③ 運営人材の確保・育成、運営業務の効率化					
	④ 責任主体の明確化、危機管理マニュアル作成					
	⑤ 保険加入状況や補償内容の確認					
	⑥ リスク管理等の研修実施					
活動準備	⑦ 収支計画の作成、会計・税務処理、労務管理		実施主体	実施主体	実施主体	実施主体
	⑧ 競技団体等への登録、大会・コンクールへの参加申込・運営従事					
	⑨ 活動計画の作成、活動スケジュールの調整(日時・場所・指導者)					
	⑩ 指導者、活動場所、移手段、消耗品や備品等の確保					
	⑪ 学校との連携、情報共有					
	⑫ 入会手続、会費徴収					
活動実施	⑬ 参加者・保護者との連絡(活動内容や出欠確認等)	実施主体	実施主体	実施主体	実施主体	
	⑭ 安全確保の取組					
	⑮ ニーズを踏まえた活動の実施					
	⑯ 体験会の開催					

### 持続的な運営体制の検証のポイント

検証のポイント	R8で見るべき観点
1 役割分担と意思決定の持続性	誰が何を担うかが明確か／業務の重複や抜け漏れがないか／トラブル時の判断システムが機能するか
2 運営人材・業務量の持続性	現行人員で回せるか／属人化していないか／繁忙時に対応可能か／効率化余地があるか
3 安全管理・危機対応の実効性	事故・怪我・トラブル時に対応できるか／事前予防が機能しているか／責任範囲が明確か
4 収支・事務処理の継続性	事務負担と収支が見合うか／会費徴収や支払処理が安定的に回るか／制度化に耐える事務水準か
5 学校接続・参加者対応の安定性	学校との接続が円滑か／参加者・保護者対応に混乱がないか／継続参加につながる運営品質か

- R8トライアルでは、運営団体と実施主体の役割分担を前提に、**各業務が継続的かつ安定的に回るか**を検証。
- 単年度の実施可否ではなく、R9以降の**本格実装を見据えた**検証。
- 体制、業務量、リスク管理、学校接続、参加者対応の観点から**持続可能性**を確認。

### 統括団体の自走化に向けたロードマップ



休日の地域展開を開始（部活動の置き換え）

- ① 業務範囲の整理
- ② 体制の整備
- ③ 業務マニュアルの整備
- ④ ICT導入

- 地域展開の進度に応じた
- ① 体制整備
  - ② 業務マニュアルの改善
  - ③ 運営人材育成プログラム
  - ④ ICT機能改善・改修

出典：新たなガイドライン（令和7年12月）別冊資料②P8より抜粋作成  
 ※1：⑦～⑫の役割は、とくに実施主体の体制によって分担がわかれやすい部分 ※2：Cのパターンが、R7トライアル事業で見られたスポーツ協会の役割に近い

# 重要論点 d : 指導者の質・量の確保に向けた取組の検討

## 新たなガイドライン (R7.12) を踏まえた、地域指導者の募集から活動管理までのイメージ

### ① 人材バンク「募集・登録」の仕組み



市の広報誌やチラシ等を活用し、スポーツ協会加盟団体ほか指導者候補となりえる地域の個人・団体へ指導者募集情報を発信。説明会等を活用するとともに、ポータルサイトに設置したオンラインフォームで希望者の登録を受け付ける。その後、登録情報をもとに、①指導者としての資質を審査、②研修の受講を完了、という2段階で認定された指導者のみが、指導現場へ配置できるものとする。

### ② 「研修・認定」の仕組み



応募時に資格や経歴を書面で確認するとともに、面談等を通じて人柄や適性も把握する。その上で、地域クラブ運営の全体像や指導方針を学ぶ基礎研修を実施し、あわせてコンプライアンス、ハラスメント防止、情報管理等に関する専門研修を行い、認定の前提となる理解と資質を確保する。

### ③ 「配置・活動管理」の仕組み



新規指導者が円滑に活動へ入れるよう、指導者同士の顔合わせや研修会等を通じて事前に関係づくりを行う。あわせて、運営アプリを活用して活動日ごとの実施報告や月次報告を集約し、事故、怪我、トラブル等の事案情報を適時把握し、必要な対応や改善につなげる仕組みを整備する。

### 人材バンクの設置に向けたスケジュールのイメージ

令和8年4月～  
人材バンク設置準備  
(指導者確保・育成・  
配置の仕組み検討)

令和8年7月頃～  
人材バンク募集開始  
(市報、チラシなど)

令和8年12月以降  
令和9年度からの配  
置に向けた審査・面  
談・研修など

令和9年4月～  
配置に向けた準備

令和9年9月～  
地域クラブ活動開始

## トライアル結果等を踏まえた、文化系部活動の今後の主な検討内容について

**① 調布モデルの文化系部活動における「統括団体」の検討**

調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画で位置付け、地域展開のスキームとして検討している「調布モデル」について、文化系部活動「統括団体」の担い手の検討を進める必要がある。

令和8年度は、トライアル事業を通じて、業務の整理を公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団と連携し、文化系部活動における統括団体としての必要な業務、課題について試行・検討を進めていく。

**② 休日部活動の実態把握及び今後の展開**

土曜日及び日曜日を中心に調布市立中学校で活動している部活動について、トライアル事業の実施を重ね、地域人材や大学と連携している。今後の休日部活動の地域展開に向けては、地域人材の確保等が課題である。

令和8年度は、各中学校の文化系部活動の平日・休日活動の実態・ニーズを詳細に把握し、活動のあり方や、今後の人材確保等の検討につなげていく。

**③ 地域資源を活用した、市民ニーズを踏まえた「地域クラブ」のあり方の検討**

市は地域の大学と相互友好協力協定を締結し、様々な分野で連携している。更に、文化協会には文化芸術に関連した20の団体が加盟しており、文化芸術推進に寄与いただいている。今後、このような様々な地域資源を活かし、ニーズに合わせた部活動の地域展開を促進していくことを想定している。

令和8年度は、新たな「地域クラブ」を含め、継続的に文化芸術活動に親しめる環境の整備に向けた検討を進めていく。

## 地域クラブ活動の運営主体の収支構造を可視化し、適切な受益者負担額や公的資金のバランスについて検証する

## 【収入】費用負担の主体と内訳

	費目	内訳
公費	国補助	制度設計や移行推進を支える国の財政支援
	都道府県補助	広域的な支援や地域間格差の調整を担う財政支援
	市区町村負担	地域の実情に応じて自治体が負担する基礎的な運営財源
受益者負担	参加費	参加者の支払う入会金、年会費、月会費等
	その他負担金	特定活動や追加サービスに応じて発生する補足的負担
協賛・寄附等	企業協賛等	地域や企業による支援財源

## 【支出】運営団体（スポーツ協会）の自走化までにかかる主な費用（イニシャルコスト）

	費目	内訳
1	事務局設置費	新たな運営体制を立ち上げるための初期整備費
2	システム開発・導入費	申込、連絡、出欠、会員管理等を行う仕組みの設計・開発等、初期導入費
3	管理運用準備費	マニュアル整備、研修準備、ルール整備等の立ち上げ費用
4	備品・環境整備費	運営開始時に必要な機材や事務環境を整える費用
5	体制強化人件費	本格実施に向けて事務局機能を拡充するための人件費

## 今後の論点

1. 収支モデルの構築，費用負担の考え方整理
2. 指導者謝金の水準をどう設定するか
3. 受益者負担をどの程度まで求めるか
4. 配慮が必要な世帯への支援をどう組み込むか

## 【支出】地域クラブ活動に直接かかる主な費用（ランニングコスト①）

	費目	内訳
1	指導者謝金	地域クラブ活動の指導に対して支払う基本的な人件費
2	指導者交通費	指導者が活動場所へ移動するために必要な交通実費
3	参加者保険料	生徒の怪我・事故等に対応する傷害保険の費用
4	指導者保険料	指導者の傷害保険・損害賠償保険の費用
5	研修費	資質向上や安全管理の徹底に必要な研修の実施費用
6	資格取得補助費	指導者の資格取得や更新を支援するための費用
7	施設使用料	学校外施設や有料施設を利用する場合の会場費
8	用具・備品費	活動に必要な器具や備品を整えるための費用
9	消耗品費	ボール、ピプス、印刷物等の継続的に消費する費用
10	大会参加・運営費	発表会、大会、練習試合などに登録・参加/運営する費用

## 【支出】運営団体・事務局にかかる主な費用（ランニングコスト②）

	費目	内訳
1	人件費	統括管理・指導者・参加者・会場管理等を担当する人件費
2	事務局交通費	学校、関係団体、会議等との連絡調整のための移動費
3	印刷製本費	募集要項、案内文、資料などを作成・配布する費用
4	消耗品費	事務局運営に必要な文具、事務用品等の費用
5	通信費	電話、郵送、インターネット等の連絡に要する費用
6	会議費	会議や関係者協議の運営に必要な費用
7	広報費・広告宣伝費	参加者募集や制度周知のための広報にかかる費用
8	ICT運用費	申込、連絡、出欠、管理等を行うシステムやアプリの運用費
9	雑役務費	外部補助業務や事務補助など、個別に発生する運営支援費
10	その他管理費	上記に含まれない事務局運営上の諸経費

05

**令和8年度スケジュール案**

## R8の事業スケジュール

## 12ヶ月間のおもな動き（サマリー版）

略号：指＝指導室／ス＝スポーツ振興課／文＝文化生涯学習課／共＝共管

	設計：R8上期					トライアル実証：R8下期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体進行			検討部会		検討委員会		検討部会		検討委員会	検討部会		検討委員会
	ワーキング会議(共)											
	責任範囲の要件定義・整理(共)					ガイドライン・規約の整備(共)						
	推進計画の改定(共)											
	トライアル事業の企画および実施準備(共)						トライアル事業の実施(共)					
運営体制	調布モデルのスキーム確定(共)											
	指導者資格要件・報酬体系の検討整理(共)											
	運営マニュアル・大会参加スキーム整備(共)											
	指導者向け研修コンテンツ整備(指)											
	人材バンクの構築・運用(共)											
施設	学校施設利用ルール整理(指)											
	認定地域クラブの施設利用インセンティブ整理(指)											
教員の関わり方	学校業務棚卸し・学校現場理解形成(指)									学校向け役割分担ガイドライン作成(指)		
	教員兼職兼業制度の整理(指)											
	教員関与時の報酬・役割整理(指)				兼職兼業のトライアル運用確認(指)							
	部活動指導員から地域クラブ指導者への接続整理(指)											
財源	収支モデル試算・参加費単価設定(ス)											
	公費負担・受益者負担・助成制度の整理(共)											

06

參考資料

# 令和7年度 部活動の地域連携・地域移行トライアル事業に関するアンケート調査 結果概要版

項目	詳細
調査名	令和7年度 部活動の地域連携・地域移行トライアル事業に関するアンケート調査
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トライアル事業の実施効果を把握するため</li> <li>・ 運営上の課題を整理するため</li> <li>・ 今後の制度設計、運営改善、事業継続に向けた基礎資料を得るため</li> </ul>
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒</li> <li>・ 教員</li> <li>・ 保護者</li> <li>・ 地域指導者（地域人材）</li> <li>・ マルチスポーツ参加者</li> </ul>
集計方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォームによる回答回収</li> <li>・ CSVデータとして出力された回答結果を集計対象とした</li> </ul>
調査テーマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調布中での実施</li> <li>2. 第五中での実施</li> <li>3. マルチスポーツ</li> <li>4. トップチーム連</li> </ol>
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動への満足度</li> <li>・ 指導のわかりやすさ</li> <li>・ 活動内容の充実度</li> <li>・ 運営面の課題</li> <li>・ 今後参加する際に重視する点</li> <li>・ 継続意向</li> <li>・ 自由意見</li> </ul>

項目	詳細
回収期間	令和8年2月17日～令和8年3月11日
回収データ数	9種類
総回答数	159件
回答数内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒向け：69件</li> <li>・ 教員向け：22件</li> <li>・ 保護者向け：29件</li> <li>・ 地域指導者向け：2件</li> <li>・ マルチスポーツ参加者向け：37件</li> </ul>
テーマ別内訳	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 調布中（生徒向け）：13件</li> <li>② 調布中（教員向け）：3件</li> <li>③ 調布中（保護者向け）：29件</li> <li>④ 第五中（生徒向け）：5件</li> <li>⑤ 第五中（教員向け）：2件</li> <li>⑥ 第五中（指導者向け）：2件</li> <li>⑦ マルチスポーツ：37件</li> <li>⑧ トップチーム連携（生徒向け）：51件</li> <li>⑨ トップチーム連携（教員向け）：17件</li> </ol>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各%は、当該アンケートの全回答数を母数に算出。</li> <li>・ 複数選択設問は、回答者ベースの選択率のため合計は100%を超える場合がある。</li> <li>・ 自由記述・その他記述は、件数と構成比を表示。</li> <li>・ 自由記述の詳細は、文意ごとに区切って同意の回答数を（ ）で表示。</li> </ul>

## ① 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | 調布中 | 生徒向け (n=13)

設問：今回の活動は、普段の部活動と比べて違いを感じましたか		
区分	回答数	%
ほとんど変わらなかった	8	61.5%
少し違いを感じた	1	7.7%
分からない	3	23.1%
かなり違いを感じた	1	7.7%

設問：今後、地域クラブに参加する場合に特に重視する点（最大2つ）		
区分	回答数	%
指導の質	5	38.5%
活動場所・移動のしやすさ	3	23.1%
活動の楽しさ	8	61.5%
友達・仲間との関係	6	46.2%
安全面	3	23.1%
費用負担	1	7.7%

設問：違いを感じた点（複数選択可）		
区分	回答数	%
特に違いは感じなかった	6	46.2%
活動の進め方	2	15.4%
出欠の管理方法（アプリ）	4	30.8%
連絡方法	2	15.4%
その他	1	7.7%

設問：今回の取組について、感じたこと・市に伝えたいこと（任意）		
区分	回答数	%
自由記述あり	3	23.1%
自由記述なし	10	76.9%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顧問の負担軽減は進めてほしい（1）</li> <li>・ 外部プールでの練習を実施してほしい／飛び込み台を用意してほしい（1）</li> <li>・ 生徒主体の良い雰囲気を維持してほしい（1）</li> <li>・ アプリはわかりやすく、使いたい（1）</li> <li>・ 何が取組なのか分かるように説明してほしい（1）</li> <li>・ 監督や先生にも活動に参加して、生徒を見守ってほしい（1）</li> </ul>		

## ② 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | 調布中 | 教員向け (n=3)

設問：トライアル事業への関わり方		
区分	回答数	%
主に指導を担当した	3	100.0%

設問：スポーツ協会（または市担当課）による運営について		
区分	回答数	%
概ね問題なかった	2	66.7%
調整が難しい場面があった	1	33.3%

設問：今後、地域クラブとして継続・拡大する場合に必要なと感じる点（最大2つ）		
区分	回答数	%
指導者の確保・育成	3	100.0%
事務負担の軽減	1	33.3%
教員の関わり方の整理	1	33.3%
その他	1	33.3%

設問：教員の兼職・兼業という形で地域クラブに関わるることについて		
区分	回答数	%
負担が大きかった	1	33.3%
無理なく対応できた	1	33.3%
やや負担はあったが対応可能	1	33.3%

設問：課題を感じた点（任意）		
区分	回答数	%
連絡調整	1	33.3%
指導体制	1	33.3%

設問：市が制度設計を進める上で伝えておきたいこと（自由記述・任意）		
区分	回答数	%
自由記述あり	1	33.3%
自由記述なし	2	66.7%

- ジャイアンツタウンでの試合を毎年実施してほしい（1）
- 抽選ではなく、希望する学校が参加できるようにしてほしい（1）
- 休日は既存クラブや市内チームで活動し、平日は学校で自主練とする形も検討してほしい（1）

## ③ 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | 調布中 | 保護者向け (n=29)

設問：出欠管理アプリの利用について		
区分	回答数	%
とても使いやすかった	10	34.5%
おおむね使いやすかった	11	37.9%
利用していない/分からない	2	6.9%
やや使いにくかった	3	10.3%
使いにくかった	3	10.3%

設問：今回の取組について、感じたこと・市に伝えたいこと（任意）		
区分	回答数	%
自由記述あり	10	34.5%
自由記述なし	19	65.5%
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門的知識のある指導者に、楽しく適切に指導してほしい（4）</li> <li>• 説明した内容は実現してほしい／トライアルは責任を持って運営してほしい（3）</li> <li>• アプリの予定反映や出欠管理を正確にしてほしい／使いやすくしてほしい（7）</li> <li>• 先生の負担が増えない仕組みにしてほしい（3）</li> <li>• ネット環境がない家庭にも配慮してほしい（1）</li> <li>• 部活らしさや生徒主体の雰囲気、仲間意識を残してほしい（2）</li> <li>• 指導の公平性を高め、団体メンバー以外にも丁寧に関わってほしい（2）</li> <li>• 学校と市の連携をもっと明確にしてほしい（1）</li> </ul>		

設問：アプリによる出欠管理は、今後も継続した方がよいと思いますか		
区分	回答数	%
継続した方がよい	16	55.2%
あまり必要性を感じない	4	13.8%
どちらかといえば継続した方がよい	9	31.0%

設問：今後、地域クラブに参加する場合に特に重視する点（最大2つ）		
区分	回答数	%
活動の楽しさ	20	69.0%
活動場所・移動のしやすさ	12	41.4%
友達・仲間との関係	10	34.5%
指導の質	9	31.0%
費用負担	3	10.3%
安全面	4	13.8%

## ④ 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | 第五中 | 生徒向け (n=5)

設問：地域人材（ソフトテニス連盟の指導者）による指導について		
区分	回答数	%
とても良かった	4	80.0%
良かった	1	20.0%

設問：上記の回答理由（複数選択可）		
区分	回答数	%
技術的な指導が分かりやすかった	4	80.0%
いつもと違う視点で教えてもらった	3	60.0%

設問：市への意見・感想（自由記述・任意）		
区分	回答数	%
自由記述あり	2	40.0%
自由記述なし	3	60.0%

- 今後も指導してほしい／この取組を続けてほしい (2)
- 先生よりも尋ねやすく、丁寧に教えてほしい (1)

設問：休日の部活動を、地域の指導者が中心となって行うことについて		
区分	回答数	%
条件が整えば良いと思う	2	40.0%
とても良いと思う	3	60.0%

設問：今後、地域クラブに参加する場合に特に重視する点（最大2つまで）		
区分	回答数	%
指導の質	4	80.0%
安全面	1	20.0%
活動の楽しさ	2	40.0%
友達・仲間との関係	2	40.0%

## ⑤ 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | 第五中 | 教員向け (n=2)

設問：地域人材導入前の準備として、特に重要だと感じたもの（複数選択可）		
区分	回答数	%
指導方針・練習内容の事前すり合わせ	2	100.0%
役割分担の明確化	2	100.0%
学校経営方針・部活動方針の共有	1	50.0%
保護者への説明	1	50.0%
生徒の状況（技術面・人間関係等）の共有	1	50.0%
契約・責任範囲の整理	1	50.0%

設問：地域指導者との役割分担は明確でしたか		
区分	回答数	%
概ね明確だった	2	100.0%

設問：地域人材による指導は教育的観点から適切だったと感じますか		
区分	回答数	%
概ね良好だった	1	50.0%
一部調整が必要	1	50.0%

設問：教育活動として特に重要だと感じた点（複数選択可）		
区分	回答数	%
生徒理解の共有	2	100.0%
指導方針の統一	2	100.0%
生活指導面の連携	1	50.0%
安全面の配慮	1	50.0%

設問：地域指導者との情報共有の頻度はどの程度必要だと感じましたか		
区分	回答数	%
月1～2回程度で十分	2	100.0%

設問：実際に共有が必要だった情報（複数選択可）		
区分	回答数	%
指導方針・活動目標	2	100.0%
学校行事・試験日程との調整	1	50.0%
けが・健康面の情報	1	50.0%
生徒の性格・人間関係	1	50.0%
トラブル・課題事案	1	50.0%

設問：ご自身の負担感について		
区分	回答数	%
かえて増えた	2	100.0%

設問：負担が増減した理由（自由記述）		
区分	回答数	%
自由記述あり	2	100.0%
自由記述なし	0	0.0%
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域指導者が来ても顧問が同席・確認せざるを得ず、業務が増えないようにしてほしい（1）</li> <li>育てたい生徒像や指導の考え方を共有する時間を確保してほしい（1）</li> </ul>		

## ⑥ 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | 第五中 | 指導者 地域人材 向け (n=2)

設問：学校・スポーツ協会との事前打合せや方針共有について		
区分	回答数	%
分かりにくい点があった	1	50.0%
概ね理解できた	1	50.0%

設問：配慮・難しさを感じた点（複数選択可）		
区分	回答数	%
安全面の配慮	1	50.0%
顧問教員との役割分担	2	100.0%

設問：今後、広げていくために必要だと感じる点（最大2つ）		
区分	回答数	%
学校との役割分担の明確化	2	100.0%
指導者確保の仕組み	1	50.0%

設問：学校部活動として指導することについて		
区分	回答数	%
一部、配慮が必要だった	2	100.0%

設問：地域人材が地域クラブ・部活動指導を担うモデルについて		
区分	回答数	%
条件を整理すれば可能	2	100.0%

設問：市・スポーツ協会への意見（自由記述・任意）		
区分	回答数	%
自由記述あり	2	100.0%
自由記述なし	0	0.0%

- ボールなどの道具消耗品を適切に整備してほしい／費用負担の整理が必要（2）
- 事前の体づくりや準備を整えてほしい（1）
- レベル差に配慮して、差が出すぎない指導にしてほしい（1）
- 顧問不在時にどこまで主導してよいか、役割分担を明確にしてほしい（1）
- 学校ごとの温度差があっても続けられる接続ルールが必要（1）

## ⑦ 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | マルチスポーツ (n=37)

設問：トライアル事業を楽しむことができましたか。理由も教えてください。		
区分	回答数	%
楽しめた	8	21.6%
とても楽しめた	29	78.4%

設問：上記で選択した理由を教えてください。		
区分	回答数	%
自由記述あり	29	78.4%
自由記述なし	8	21.6%

- いろいろなスポーツや初めての種目を体験したい／体験できるのが楽しい (11)
- 友だちと交流したい／みんなと仲良く参加したい (6)
- タグ取りディスクなどの種目そのものが楽しい／面白い (8)
- 初めてでも分かるように丁寧に教えてほしい (4)
- チームの実力差が大きすぎないようにしてほしい (1)

設問：指導者の教え方や説明は分かりやすかったですか。理由も教えてください。		
区分	回答数	%
とても分かりやすかった	29	78.4%
分かりやすかった	8	21.6%

設問：上記で選択した理由を教えてください。		
区分	回答数	%
自由記述あり	28	75.7%
自由記述なし	9	24.3%

- ルールややり方を分かりやすく説明してほしい (1)
- 分かりやすく教えてもらえるのがよい (16)
- 実演やお手本を見せて教えてほしい (3)
- 優しく丁寧に教えてほしい (4)
- 声を大きく、はっきり説明してほしい (2)
- 分かりにくい種目はもう少し説明してほしい (1)

設問：体験した活動の内容は充実していましたか。		
区分	回答数	%
とても充実していた	29	78.4%
充実していた	8	21.6%

設問：今後もトライアル事業に参加してみたいですか。理由も教えてください。		
区分	回答数	%
参加したい	37	100.0%

設問：上記で選択した理由を教えてください。		
区分	回答数	%
自由記述あり	37	100.0%
自由記述なし	0	0.0%

- 楽しかったのでまた参加したい (22)
- 他のスポーツや知らない競技にも挑戦したい (6)
- みんなでまたスポーツをしたい／協力して活動したい (4)
- もっと運動したい (1)
- 競争して勝ちたい (1)

設問：今後のトライアル事業としてやってみたい種目、活動はありますか。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ピックルボールをやりたい (6)</li> <li>• 鬼ごっこ系の活動をやりたい (5)</li> <li>• 卓球をやりたい (4)</li> <li>• ティーボールベースボール系をやりたい (6)</li> <li>• ドッジボール、キックベース、バスケットボールをやりたい (各3)</li> <li>• バドミントン、水泳、セストボールをやりたい (各2)</li> <li>• 前回と違う種目をやりたい／競技を少し変えてほしい (2)</li> <li>• 特に希望はない (4)</li> </ul>		

## ⑧ 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | トップチーム連携 | 生徒向け (n=51)

設問：参加した種目		
区分	回答数	%
軟式野球	39	76.5%
サッカー	12	23.5%

設問：良かった（または難しいと感じた）点（複数選択可）		
区分	回答数	%
技術的な指導が分かりやすかった	33	64.7%
いつもと違う視点での指導を受けられた	27	52.9%
モチベーションが高まった	19	37.3%
レベルが高く難しかった	3	5.9%
活動時間・内容が合わなかった	4	7.8%

設問：トップチームの指導者による指導について		
区分	回答数	%
とても良かった	29	56.9%
良かった	15	29.4%
あまり良くなかった	7	13.7%

設問：市への要望や感想（自由記述・任意）		
区分	回答数	%
自由記述あり	17	33.3%
自由記述なし	34	66.7%

- ・ 良い経験だったので今後も続けてほしい／また参加したい (5)
- ・ 基礎だけでなく、応用や発展的な練習もしてほしい (5)
- ・ 別の選手や別のアカデミーにも来てほしい (4)
- ・ 移行時は円滑で丁寧に対応してほしい／安心して集中できる環境を続けてほしい (2)
- ・ 部ごとに練習場所を分けてほしい (1)

設問：合同部活動で特に良かった点（最大2つまで）		
区分	回答数	%
競争意識・刺激が生まれた	14	27.5%
他校の生徒と交流できた	23	45.1%
特に感じなかった	19	37.3%
人数が増えて充実した練習ができた	13	25.5%

設問：他校の生徒と合同で活動することについて		
区分	回答数	%
良い刺激になった	18	35.3%
とても良い経験になった	19	37.3%
あまり必要性を感じなかった	14	27.5%

設問：トップチーム等と連携した休日の部活動について		
区分	回答数	%
今後も継続してほしい	21	41.2%
機会があれば参加したい	19	37.3%
通常の部活動中心でよい	11	21.6%

設問：今後、地域クラブに参加する場合に特に重視する点（最大2つまで）		
区分	回答数	%
指導の質	26	51.0%
活動の楽しさ	30	58.8%
友達・仲間との関係	17	33.3%
活動場所・移動のしやすさ	13	25.5%
安全面	3	5.9%
その他	2	3.9%

## ⑨ 令和7年度部活動の地域連携・地域移行トライアル事業 | トップチーム連携 | 教員向け (n=17)

設問：本トライアルへの関わり方		
区分	回答数	%
一部のみ関与	8	47.1%
主に引率・運営を担当	9	52.9%

設問：合同部活動（複数校参加）の運営について		
区分	回答数	%
概ね問題なかった	10	58.8%
スムーズに実施できた	4	23.5%
調整負担が大きかった	3	17.6%

設問：トップチーム・大学等との連携の形について		
区分	回答数	%
条件を整理した上で活用すべき	10	58.8%
限定的な活用が望ましい	2	11.8%
今後も積極的に活用すべき	5	29.4%

設問：市が今後検討する際に伝えておきたい点（自由記述・任意）		
区分	回答数	%
自由記述あり	12	70.6%
自由記述なし	5	29.4%

- ・ 事前説明、目的共有、日程共有をもっと早くしてほしい (6)
- ・ 学校に負担が偏らないよう、連絡調整当日運営まで担う体制が必要 (6)
- ・ 生徒にとって貴重で有意義な機会なので継続してほしい (5)
- ・ 現場の実態や各チームの課題に合った内容にしてほしい／単発ではなく継続的に支援してほしい (4)
- ・ 全校が参加できる日程会場審判移動ルールを整えてほしい (4)
- ・ 引率や生活指導、大会運営まで含めた体制を整えてほしい (3)

設問：トップチーム等の外部指導者と連携した指導について		
区分	回答数	%
調整が難しい場面があった	6	35.3%
概ね有意義だった	6	35.3%
非常に有意義だった	5	29.4%

設問：負担を感じた点（複数選択可）		
区分	回答数	%
日程調整	15	88.2%
連絡体制	10	58.8%
役割分担	8	47.1%
生徒管理・引率	4	23.5%

設問：今後、制度として広げていくために必要だと感じる点（最大2つ）		
区分	回答数	%
外部指導者との役割整理	5	29.4%
学校側の負担軽減	12	70.6%
実施頻度・対象の整理	3	17.6%
運営・調整を担う主体の明確化	9	52.9%
その他	2	11.8%